KENWOOD

デュアルサイズCD/カセットレシーバー

DPX-4200

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

Functional Operation

ソースセレクション/時刻調整
CD/Changer モード
Tape モード
TUNER モード
Name Set
ディスプレイコントロール
DSPコントロール
イコライザーコントロール
オーディオコントロール
Function

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション
Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション
EZ Operation

EZ Operation

© B64-2318-00 (JW)

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation ? Word

取り付け方法など

付　録

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたを大きく次の３つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。
ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。
すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

Help

? Operation

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? Word

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した［付録］があります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらない共通の操作を表しています。

テープの操作
テープをプレイする操作を表しています。

CDの操作
CDをプレイする操作を表しています。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

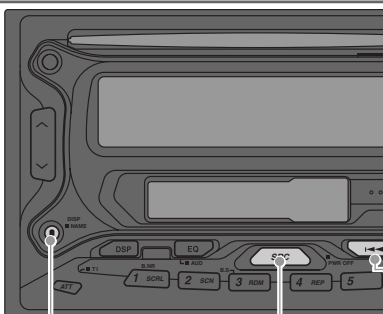
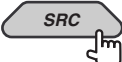
注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

１秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、１秒間押します。また、メモリーに書き込むときには２秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

Functional Operation
ソースセレクション／時刻調整
この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。
A
B
ソース選択
プレイするソースを切り替えます。
SRC
押すたびに次の順で切り替わります。
ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。
TUNER
FM/AM放送を受信
TAPE
カセットテープをプレイ
CD
CDをプレイ
内容の説明
ALL OFF
電源をオンのままで機能を停止
表示される文字または内容
時刻合わせ
時計表示の時刻を合わせます。
1 時計表示を選びます
DISP
■NAME
AM10:00
ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。
2 時刻合わせを開始します
1秒
AM10:00
表示が点滅するまで押し続けます。
上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

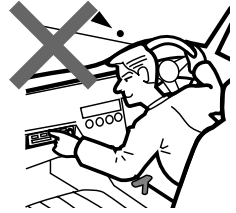
絵表示の例

⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やカセットの挿入・取り出しなど）

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

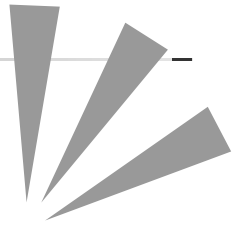
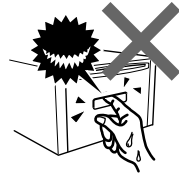
以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

●音が出ない
●ディスプレイが表示されない
●異物が入った
●水がかかった
●煙が出る
●変な匂いがする

禁 止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

禁 止

ディスク挿入口やカセットテープ挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続するディスクチェンジャーについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーの機種はカタログをご覧ください。

●

1997年以前のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

●

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●

本機のDNPS機能は本機内部の記憶機能に10枚まで記憶することができます。また、CDチェンジャーに内蔵の記憶機能についてはCDチェンジャーにより異なりますのでCDチェンジャーの取扱説明書を参照してください。

●

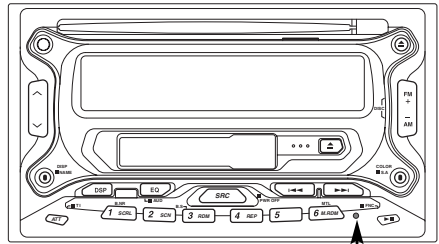
別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」（46ページ）およびKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp (p.36)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタン

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDやカセットテープが取り出せない。
- CDやカセットテープを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“AUX”と表示される。
- KCA-S210A, CA-C1AXが接続されていないときに“AUX”と表示される。

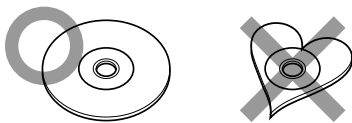
セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

マークの付いていないCDは使用しないでください。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

●

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷したCD-R/CD-RWを長時間再生または放置すると、レーベル面が本機内部に貼り付いてイジェクトできないことがあります。本機の故障の原因となるため、レーベル面に印刷をしたCD-R/CD-RWは使用しないでください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

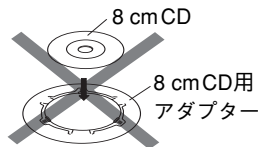
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

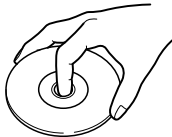
●

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

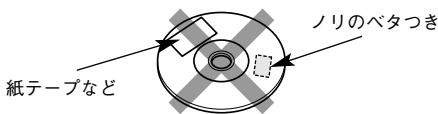
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。

CDとカセットテープの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が記録面です）

●

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

●

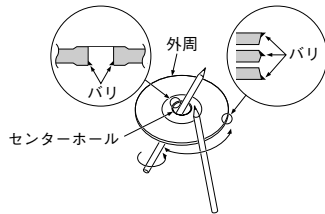
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCD が取り出せなくなったり、故障することがあります。

CDの保存

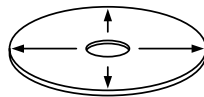
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

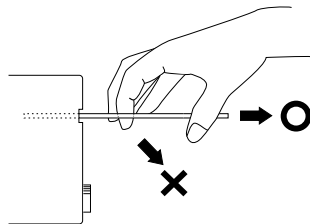
●

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

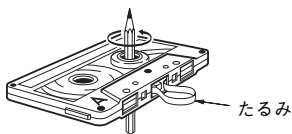
新しいCDを使うときは

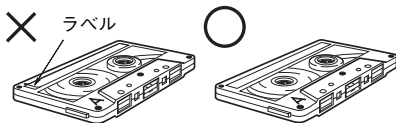
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

カセットテープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。

●

変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。

●

カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

●

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

●

エンドレステープは使用しないでください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店などで市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

EZ Operation

ディスクとテープのプレイは簡単！　ディスクまたはテープを差し込むだけです。

電源をオン/オフします。
押すと電源がオンになります。
１秒以上押すと、電源がオフになります。

テープ/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
テープとディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、テープ、CD、ALL OFFに切り替わります。
カセットテープが入っているときは、インジケーターが点灯し、CDが入っているときはインジケーターが点灯します。（ソース選択14ページ）

カセットテープを取り出します。

カセットテープをプレイするときは…
プレイするカセットテープを差し込みます。

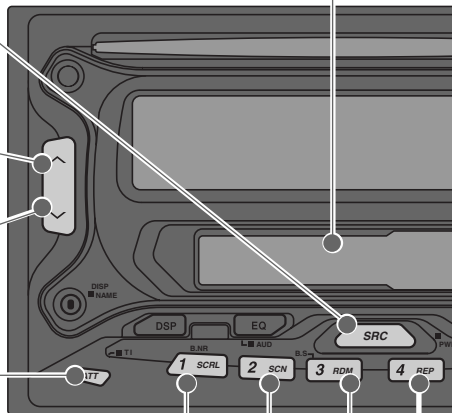
音量を上げます。

音量を下げます。

DISP
NAME
DSP
EQ
AUD
SRC
TI
B.NR
B.S
ATT
1 SCRL
2 SCN
3 RDM
4 REP

音量をすばやく小さくします。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
アッテネーターが入っているときは**ATT**インジケーターが点滅します。

1秒以上押すと、交通情報を受信します。
もう一度1秒以上押すと元に戻ります。

メモリーされている放送局を選びます。
2秒以上押すと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。

●安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
●全ての操作は、電源をオンにした状態で行ってください。

CDをプレイするときは…

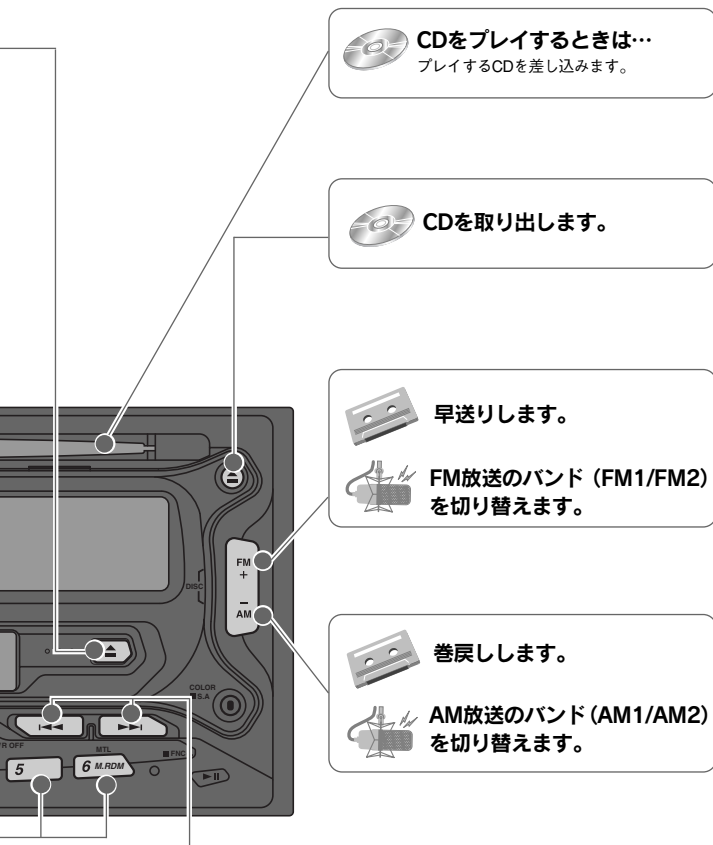
プレイするCDを差し込みます。

CDを取り出します。

早送りします。

FM放送のバンド（FM1/FM2）を切り替えます。

巻戻しします。

AM放送のバンド（AM1/AM2）を切り替えます。

プレイする曲を選びます。

押すたびに、次の曲または現在演奏中の曲の先頭/前の曲になります。
押し続けると、早送り／早戻しができます。

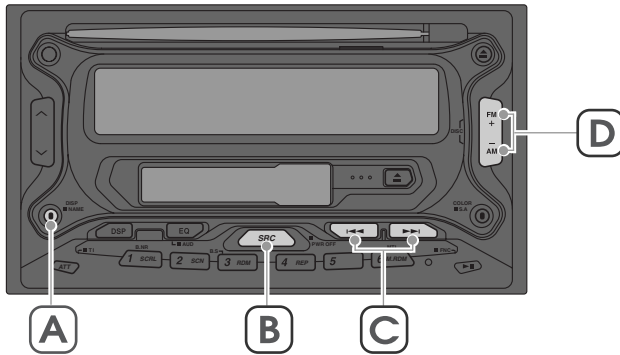
飛び越し選曲します。(DPSS)

続けて押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。

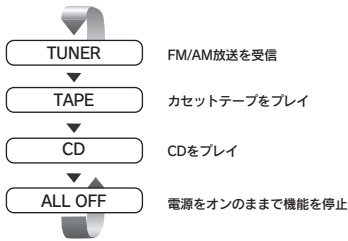
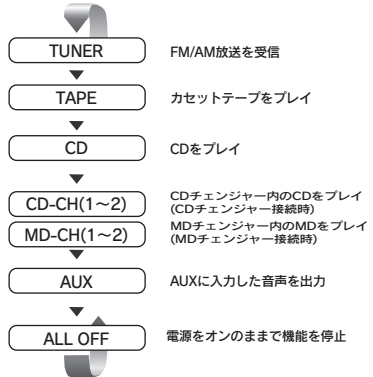
受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を１ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。
（34ページ）

交通情報の周波数(1620kHz/ 1629kHz/522kHz)を切り替えます。

ソースセレクション／

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。

別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXを接続すると“AUX”が表示され、AUX入力された音声を出力することができます。

時刻調整

プレイするソースを選びます。
また、時計表示の時刻調整をします。

時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。

1 時計表示を選びます

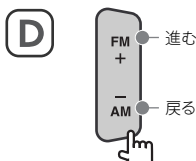
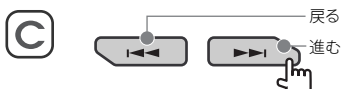
AM10:00

時計表示のしかたは、「ディスプレイ表示切り替え」（24ページ）を参照してください。

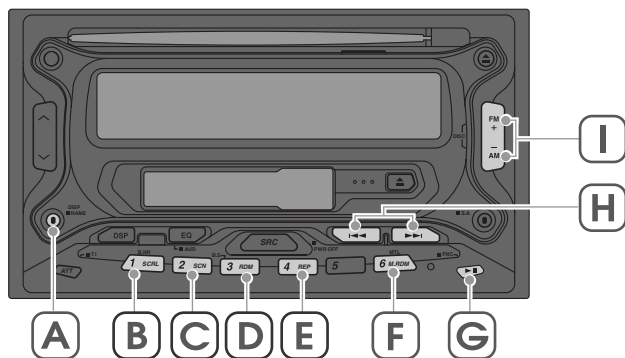
2 時刻合わせを開始します

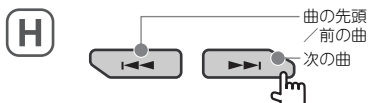
表示が点滅するまで押し続けます。

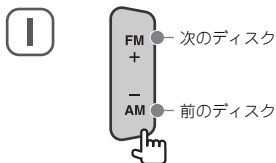
3 時刻を合わせます

“時” を合わせる

“分” を合わせる

4 時刻合わせを終了します

00秒からカウントがスタートします。

CD/Changer モード

トラックサーチ

順に曲を選びます。

ディスクサーチ(ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。

“10”番目のディスク番号は“0”と表示されます。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します

もう一度押すとプレイを再開します。

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。

押すたびに、次の通りにオン／オフします。

ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。

押すたびに、ランダムプレイがオン／オフします。ランダムプレイ中は**RDM**インジケーターが点灯します。

⏭ を押すと、次の曲をランダムに選択します。

CDまたは別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDの聴き方はEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

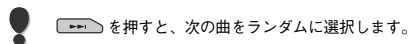
マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

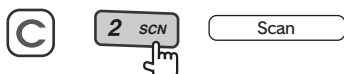
ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。

M-Random

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン／オフします。
マガジンランダムプレイがオンのときは**M.RDM**インジケーターが点灯します。

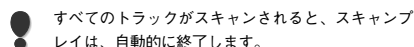
を押すと、次の曲をランダムに選択します。

スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 スキャンプレイを開始します

スキャンプレイ中は**SCN**インジケーターが点灯し、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで…

その曲からプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、スキャンプレイは、自動的に終了します。

タイトル/テキストスクロール

(ディスクチェンジャーのみ)

ディスプレイのタイトル／テキスト表示をスクロール設定が“Manu”のときにスクロールさせます。

1 タイトル/テキスト表示にします

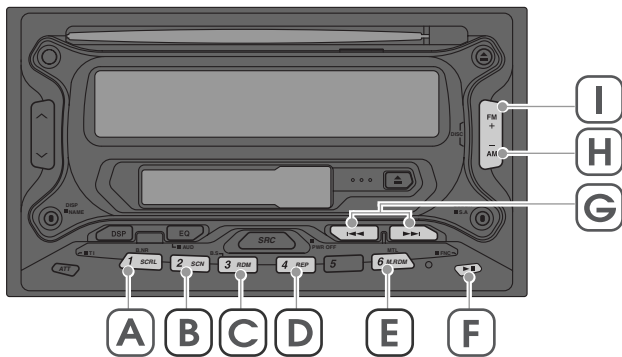
D-Title

「ディスプレイ表示切り替え」（24ページ）を参照して、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

2 スクロールします

表示中のディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストが1回スクロールします。

- スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、タイトル／テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール選択の方法は、「ファンクションセット」（34ページ）を参照してください。
- スクロール可能なタイトル／テキスト表示については、「Help? Word」（43ページ）の「SCL」を参照してください。

Tape モード

早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。

早送り

巻戻し

REW

早送り／巻戻しを解除するには

プログラム

テープの再生方向（A面とB面）を切り替えます。

押すたびに、テープの再生方向が切り替わります。

ドルビーB NRシステム

ドルビーB NRシステムをオン／オフします。

押すたびに、ドルビーB NRシステムがオン／オフします。ドルビーB NRシステムを使用しているテープをプレイするときは、オンにします。
ドルビーB NRシステムがオンのときは、**B NR**インジケーターが点灯します。

ブランクスキップ

10秒以上続く無録音部分を早送りします。

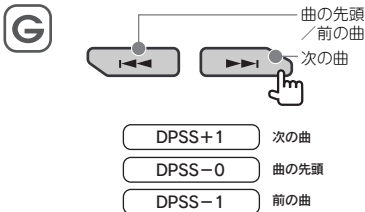
B.S On

押すたびに、ブランクスキップがオン／オフします。
ブランクスキップがオンのときは、**BS**インジケーターが点灯します。

カセットテープをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なカセットテープの聴き方はEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

DPSS（ダイレクトプログラムサーチシステム）

先の曲や前の曲を飛び越し選曲します。

連続して押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。

途中で中止するときは

インデックススキャンプレイ

テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして曲を探すことができます。

1 インデックススキャンプレイを開始します

IDX Scan

インデックススキャンプレイ中は、**SCN**インジケーターが点灯します。

2 聴きたい曲のところで…

その曲からプレイされます。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。

Repeat

押すたびに、リピートプレイがオン／オフします。リピートプレイがオンのときは、**REP**インジケーターが点灯します。

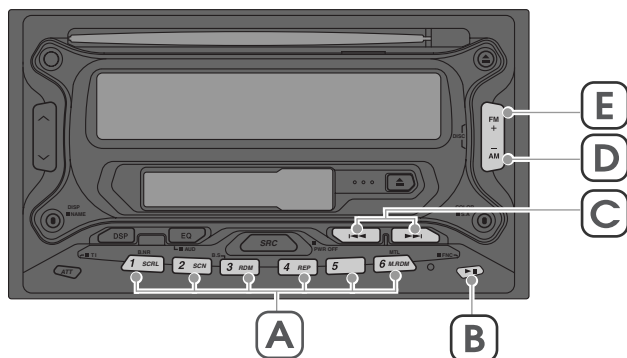
DPSS、インデックススキャンプレイ、リピートプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。

テープポジションセレクター

テープポジションのメタルのオン／オフをします。

MTL On

押すたびに、メタルポジションセレクターがオン／オフします。なお、メタルテープ（TypeⅣ）またはクロムテープ（TypeⅡ）をプレイするときは、オンにします。
メタルポジションセレクターがオンのときは、**MTL**インジケーターが点灯します。

TUNER モード

バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。

AM1とAM2に切り替えます。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

チューニングモードが "Auto 1" のとき (AUTO 1インジケーターが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが "Auto 2" のとき (AUTO 2インジケーターが点灯しています)
メモリーされている放送局を番号順に受信します。

チューニングモードが "Manual" のとき
押すたびに、周波数が１ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」(34ページ) で選択できます。
- FMステレオ放送を受信すると**ST**インジケーターが点灯します。

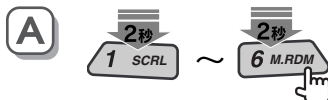
マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

3 メモリーするナンバー(1～6のいずれか)を選択します

F1 84.7 ch2

ボタンナンバー表示が１回点滅するまで押し続けます。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに６局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴き方はEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

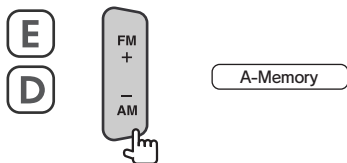
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします

Function

“Function”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します

A-Memory

4 オートメモリーを開始します

A1-1562 ch A

周波数表示になるまで押し続けます。
６局メモリーするか、周波数を１周すると自動的にオートメモリーは終了します。

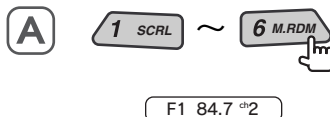
プリセットチューニング

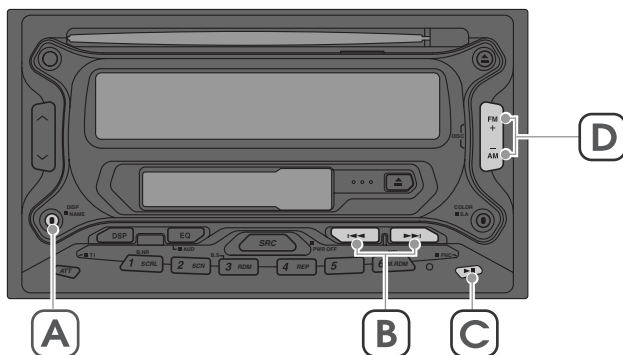
メモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 メモリーされているナンバー(1～6)を選択します

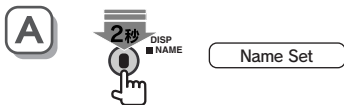
F1 84.7 ch2

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

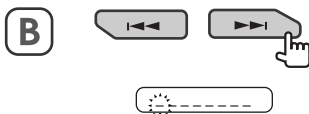
Name Set

DNPS（ディスクネームプリセット）/ SNPS（ステーションネームプリセット）

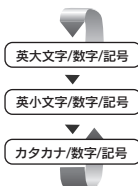
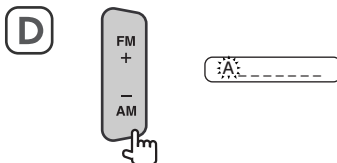
CDやFM/AM放送局に名前を付けます。
FM/AM放送局には30局までステーションネームをセットできます。
また、本機CDプレーヤーには10枚までディスクネームをセットできます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

- 時計表示中または、スキャンプレイ、マガジンランダムプレイ中はDNPS/SNPSは行えません。時計表示または、スキャンプレイ、マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。
- MDまたはAUXに名前は付けられません。

2 ネームセットモードにします

“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

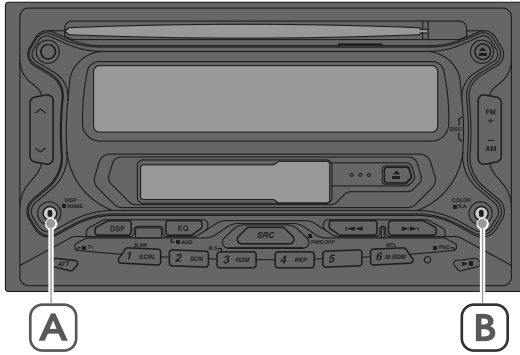
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します

4 文字の種類を選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

5 文字を選びます

FM/AM放送局や本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。

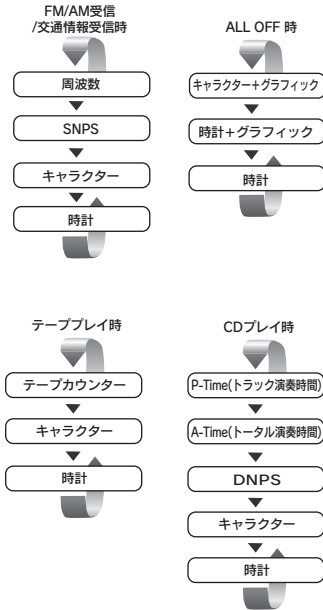
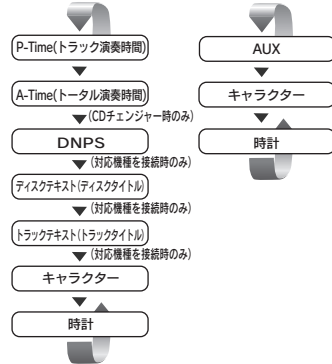
6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 ネームセットモードを終了します

- 10秒間以上、なにも操作しないとその時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されます。
- ディスクネームをセットできるディスクの枚数は、接続しているCDチェンジャーにより異なります。くわしくはCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機とディスクチェンジャーはそれぞれのメモリーで名前を記憶しています。このため本機内部のCDプレーヤーで名前を付けたディスクをディスクチェンジャーでプレイしてもDNPSは表示されません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順2～6の操作により変更できます。

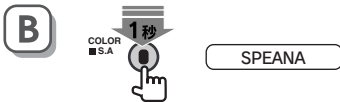
ディスプレイコントロール

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

ディスプレイに表示する情報やカラーなどの設定をします。

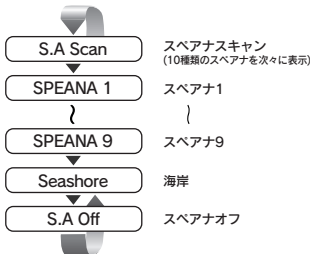
アナライザーの切り替え

スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。

1 スペアナコントロールモードにします

SPEANA

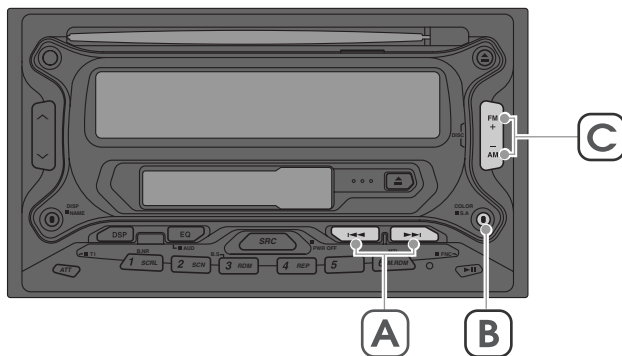
“SPEANA”と表示されるまで押し続けます。

2 アナライザーを選択します

押すたびに次の順で切り替わります。

アナライザーの切り替えはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

3 スペアナコントロールモードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

ディスプレイコントロール

イルミカラーコントロール

ディスプレイのイルミネーション色を設定します。

1 イルミコントロールモードにします

Illumi

2 イルミネーション色を選択します

押すたびに次の順で切り替わります。

“ユーザーカラー” は「イルミユーザーカラー設定」（次ページ）で調整した色が呼び出されます。

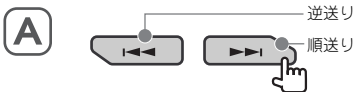
3 イルミコントロールモードを終了します

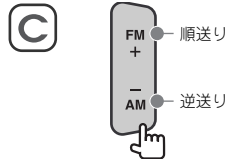
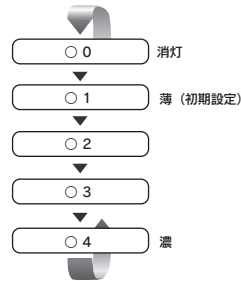
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

イルミユーザーカラー設定

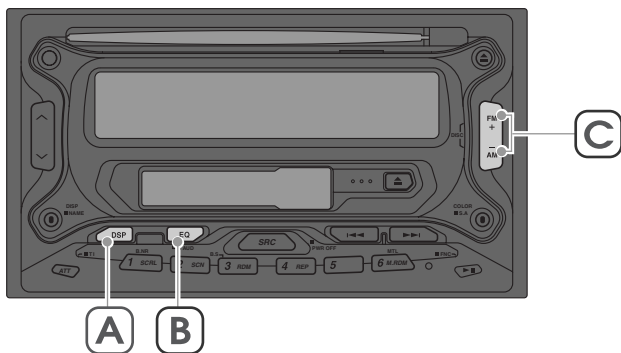
ディスプレイ色を自由に調整します。

1 イルミコントロールモードにします

2 調整する色を選択します

イルミネーション色がユーザーカラー設定になり、押すたびに次の順で切り替わります。

3 イルミネーション色を調整します

押すたびにそれぞれの色が、次のように切り替わります。

4 イルミコントロールモードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。
「イルミカラーコントロール」（前ページ）で“ユーザーカラー”を選ぶと、ここで調整した色が呼び出されます。

DSPコントロール／

DSPの選択

DSP機能を使用して、疑似音効果を呼び出します。

1 DSPモードにします

DSP mode

DSP効果のかかった音が出力されます。
DSPモードがオンのときはDSPインジケーターが点滅します。

- DSPの設定はALL OFFモード以外のモード中に設定できます。
- バランス／フェダーを中央位置以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。DSPシステムのオン中は、バランス／フェダーを中央位置にして使用してください。

2 サウンドフィールドの選択をします

押すたびに次の順で切り替わります。

10秒間以上、なにも操作しないでおくとサウンドフィールドの選択を終了します。

DSPシステムをオフにするときは

“DSP Off” と表示されるまで押し続けるか、または**DSP**インジケーターが消えるまで押し続けます。
DSP効果が解除されます。

イコライザーコントロール Functional Operation

DSP（デジタルシグナルプロセッサー）の選択ができます。
また、イコライザーカーブの設定や調節をします。

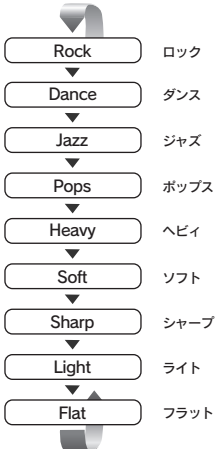
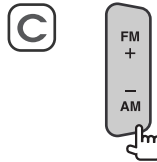
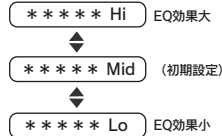
イコライザーイージーの調節

ジャンル別に設定された音質を呼び出して、その効果の強弱を設定します。

1 イコライザーイージーモードにします

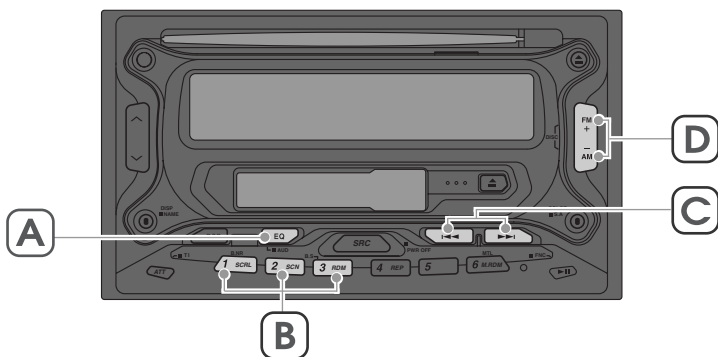
イコライザーイージーモードは、「ファンクションセット」（34ページ）の“EQ”項目が“EASY”に設定されている場合に行えます。

2 イコライザーカーブを選択します

押すたびに次の順で切り替わります。選択中のジャンルのインジケーターが点滅します。

3 イコライザーの音質効果を調節します

押すたびに次の順で切り替わります。
“＊＊＊＊”はイコライザーカーブの“Rock”～“Light”が表示されます。

イコライザーカーブが“Flat”の場合、音質効果の調節できません。

4 イコライザーイジーの調節を終了します

１秒以上押し続けるとイコライザーイージーの調節が終了します。
または、10秒間以上何も操作しないでおきます。

イコライザーコントロール

イコライザープロの調節

ジャンル別に設定された音質を好みの音質に調節します。

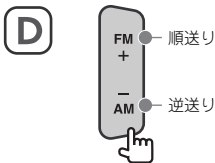
1 イコライザープロモードにします

EQ PRO

イコライザーイージーモードは、「ファンクションセット」(34ページ)の"EQ"項目が"PRO"に設定されている場合に行えます。

2 イコライザーカーブを選択します

イコライザーイージーの調節(29ページ)の手順2を参照してイコライザーカーブを選択します。

3 音質効果の設定項目を選択します

4 音質効果の値を選択します

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Bas F* (低音中心周波数)	60/70/80/100 または150(Hz)
Bas LV (低音レベル)	−12〜+12
Bas Q* (低音クォリティーファクター)	1.0/1.25/1.5/2.0
EXT* (低音中心周波数伸張)	On/Off
Mid F* (中低音中心周波数)	500/1.0k/1.5k /2.0k(Hz)
Mid LV (中低音レベル)	−12〜+12
Mid Q* (中低音クォリティーファクター)	1.0/2.0
Tre F* (高音中心周波数)	10.0/12.5/15.0 /17.5(kHz)
Tre LV (高音レベル)	−12〜+12

5 イコライザープロの調節を終了します

１秒以上押し続けるとイコライザープロの調節が終了します。
または、10秒間以上何も操作しないでおきます。

- *マークが付いた項目の詳しい機能については、「Help ?Word」(42ページ)をご覧ください。
- 手順３～４で設定した値は、右ページの方法でメモリーしたり、呼び出すことができます。各設定項目を調整すると“User”と表示されます。
- Bas Q（低音クォリティファクター）の設定値により、Bas F（低音中心周波数）の設定可能な周波数が以下のように変わります。

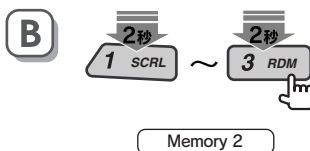
Bas Q 設定値	Bas F 設定可能値
1.0/1.25/1.5	60/70/80/100(Hz)
2.0	60/70/80/150(Hz)

イコライザープロメモリー

イコライザープロの設定を３種類までメモリーしておくことができます。

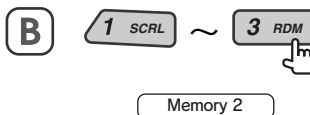
1 イコライザーカーブを設定します

「イコライザープロの調節」（前ページ）を参照して手順１～手順４を行います。

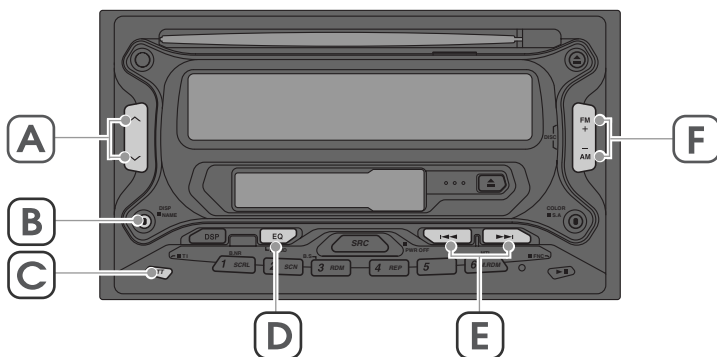
2 メモリーするボタン（1～3のいずれか）を選びます

Memory 2

“Memory ○”と表示されるまで押し続けます。

イコライザープロを呼び出すときは

Memory 2

「イコライザープロの調節」（前ページ）の手順1のあとに押すと、メモリーされているイコライザープロの音質効果が呼び出されます。

オーディオコントロール

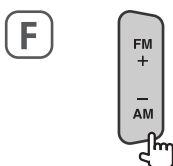
Functional Operation

オーディオコントロール

音量バランスを設定します。

1 オーディオコントロールをオンにします

"AUD mode"と表示されるまで押し続けます。

オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 設定する項目を選択します

3 値を選択します

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BAL (左右の音量レベル)	L15〜**00**〜R15 (左)　　　(右)
FAD (前後の音量レベル)	R15〜**00**〜F15 (後)　　　(前)

(太字は初期設定値)

4 オーディオコントロールを終了します

オーディオコントロール

音質バランスなどを調整します。
また、交通情報を受信時の音量を設定します。

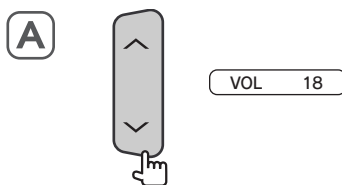
交通情報音量設定

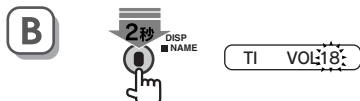
交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします

TRAFFIC

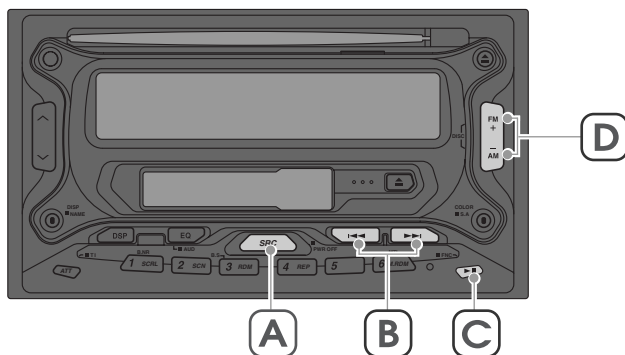
“TRAFFIC” と表示するまで押し続けます。

2 設定したい音量にします

3 音量をメモリーします

音量表示中に・・・

音量表示中に、音量表示が１回点滅するまで押し続けます。

4 交通情報モードを終了します

１秒以上押すと、交通情報モードが解除されます。次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

Function

ファンクションセット

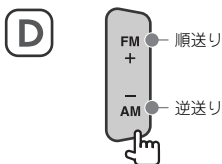
操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定項目があるモードにします

2 ファンクションセットモードにします

Function

“Function”と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します

右表の順番で設定項目が切り替わります。

*マークが付いた項目の詳しい機能については、「Help ?Word」(42ページ)をご覧ください。

4 設定値を選択します

設定できる項目と値は次のとおりです。
“EQ”項目の設定は下記の方法で切り替わります。

“EQ”項目の切り替え方

1秒以上押すたびに、“EQ EASY”と“EQ PRO”が切り替わります。

本機の各種機能を設定します。

ALL OFFモード中のみ

設定項目	設定値
COL* (ディスプレイのカラーモード設定)	**Sync**/Fix
CONT* (ディスプレイの文字のコントラスト調整)	1～**7**～11
BEEP* (ビープ音)	**On**/Off
Open* (電源オン時のデモンストレーション)	**On**/Off
EQ* (イコライザーの調節)	**EASY**/PRO

（太字は初期設定値）

TUNERモード中のみ

設定項目	設定値
Auto/Manual* (チューニングモード)	**Auto 1**/ Auto 2/ Manual
MONO* (FM放送モノラルチューニング)	On/**Off**
A-Memory (オートメモリー)	設定の方法は21ページをご覧ください。

（太字は初期設定値）

“MONO”項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。

CD-CH/MD-CHモード中のみ

設定項目	設定値
SCL* (タイトル／テキストオートスクロール)	**Auto**/Manu

（太字は初期設定値）

5 ファンクションセットモードを終了します

電源がオンにならない

原因	処置
●ヒューズが切れている。	●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
●入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	●「接続」(46ページ)を見て正しく接続し直してください。

音が出ない/音が小さい

原因	処置
フェダー、バランスが片方に寄っている。	フェダーやバランスを正しく調整してください。(32ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

原因	処置
内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

原因	処置
●音量が大きすぎる。	●音量を適正に調整してください。
●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	●スピーカーの配線を確認してください。
●スピーカーの配線が間違っている。	●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
●チューナーにDSP効果の強い設定(Churchなど)にしている。	●DSPをオフにするか効果の弱い設定に替えてください。チューナーの受信状態によりひずんで聞こえる場合があります。(28ページ)

チューナーの感度が悪い

原因	処置
●自動車のアンテナが伸びていない。	●アンテナを十分に伸ばしてください。
●アンテナコントロール電源が接続されていない。	●「接続」(46ページ)を見て正しく接続し直してください。
●アンテナ入力がきちんと接続されていない。	●アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

原因	処置
●それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。	●接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。
●別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。	●リセットボタンを押してください。(8ページ)
●別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。	●O-NスイッチはN側に設定してください。
●本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。	●対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

Tape mode

カセットテープが入らない

原因	対処
●すでにカセットテープが入っている。 ●カセットハーフが変形している。 ●逆向きに入れようとした。	●入っているカセットテープを取り出してください。 ●他のカセットテープを使用してください。 ●テープが見える面を右にして入れてください。

SRCボタンを押しても、テープに切り替わらない

原因	対処
カセットテープがセットされていない。	カセットテープをセットしてください。

カセットテープを取り出せない

原因	対処
車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。	ACCスイッチをオフにしてからカセットテープを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

テープでDPSS、リピート、インデックススキャンできない、目的の位置で止まらない

原因	対処
曲間の無録音部分が短すぎる。	曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。

曲の途中で早送りされる

原因	対処
録音レベルの低い部分が10秒間以上ある。	ブランクスキップをオフにしてください。(18ページ)

ブランクスキップされない

原因	対処
無録音部分の雑音が大きい。	雑音が小さくなるように録音してください。

曲の先頭しかプレイしない

原因	対処
インデックススキャンプレイがオンになっている。	インデックススキャンプレイをオフにしてください。(19ページ)

音質が悪い

原因	対処
●テープポジションセレクターの設定が違っている。 ●ドルビーB NRシステムの設定が違っている。	●プレイしているカセットテープのポジション(タイプ)を確認して、正しく設定してください。(19/43ページ) ●ドルビーB NRシステムを使用して録音したテープか確認してください。(18ページ)

CD/Changer mode

SRCボタンを押してもCDに切り替わらない

原因	処置
CDがセットされていない。	プレイするCDをセットしてください。

CDが入らない

原因	処置
すでにCDが入っている。	入っているCDを取り出してから入れてください。

内蔵のCDを取り出せない

原因	処置
●ディスクがイジェクト途中で止まっている。 ●車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。	●CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。 ●ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

内蔵のCDプレイ中に振動で音飛びする

原因	処置
●取り付け角度が30°を超えている。 ●取り付けが不安定になっている。	●30°以下になるように取り付けし直してください。 ●しっかりと取り付けし直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

原因	処置
●CDが裏返しである。 ●CDが異常に汚れている。 ●結露している。 ●CDが内部的に検出されていない。	●レーベル面を上にして入れ直してください。 ●「CDとカセットテープの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。(10ページ) ●しばらく放置してから使用してください。(9ページ) ●リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

原因	処置
●ファイナライズ処理を行っていない。 ●CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーでプレイしている。	●CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。 ●CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

CDテキストが表示されない

原因	処置
●使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、“O-N”スイッチがない。 ●使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。	●1998年以降発売のディスクチェンジャーを使用してください。 ●ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。 → ランダムプレイをオフにしてください。（16ページ）

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートプレイがオンになっている。 → トラックリピートプレイをオフにしてください。（16ページ）

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。 → スキャンプレイをオフにしてください。（17ページ）

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。 → ランダムプレイをオフにしてください。（16ページ）

チェンジャー内のディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。 → マガジンランダムプレイをオフにしてください。（17ページ）

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。 → ディスクリピートプレイをオフにしてください。（16ページ）

トラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。 → ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

チェンジャーのマガジンランダムができない

ディスクが１枚しか入っていない。 → ディスクを２枚以上挿入してください。

文字がスクロールしない

ディスクネームを表示しているため。 → スクロール表示されるのはディスクテキスト、トラックテキストです。

チェンジャーで文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。 → スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

チェンジャーでタイトル表示に切り替えても“No Title/No Text”と表示される

ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキスト、トラックテキストが記録されていない。 → ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキスト、トラックテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

Name Set

DNPSができない

●接続したCDチェンジャーがDNPSに対応していない。
●MDをプレイしている。
●時計表示中または、スキャンプレイ、マガジンランダムプレイがオンになっている。

●CDチェンジャーがDNPS機能に対応していないと使用できません。
●MDにDNPSはできません。
●時計表示中または、スキャンプレイ、マガジンランダムプレイをオフにしてください。

登録したはずのステーションネームが消えた

●31局目のステーションネームを登録した。
●本機をバッテリーから外したため。

●登録できるステーションネームは30局分です。
●本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

●本機に11枚目のディスクネームを登録した。または、CDチェンジャーの登録枚数を超えた。
●本機をバッテリーから外したため。

●本機に登録できるディスクネームは10枚分です。CDチェンジャーの登録可能枚数はCDチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。
●本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

Display/DSP/Equalizer Control

アナライザーの切り替えができない

ALL OFFモードになっている。

SRCボタンを押して、オーディオソースに切り替えてからアナライザーの切り替えをしてください。

DSP効果が得られない

●２スピーカーシステムになっている。
●フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
●スピーカーの極性が逆に接続されている。
●フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。

●「接続」（46ページ）を見て正しく接続し直してください。

●フェダーやバランスを正しく調整してください。（32ページ）

DSPまたはイコライザーの効果が得られない

交通情報モードにしている。

交通情報モード中は、自動的にDSP機能またはイコライザー機能が一時解除されます。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

Error 04 ：●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

Error 12 ：演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
➡データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。

EJECT ：●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

No Disc ：ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

No Name ：●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないCDを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。

No Title ：タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

No Text ：CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

No Track ：演奏しようとしたMDに何も録音されていない。

Blank ：演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。

システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

Error 77 ：何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Hold ：本機のCDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

Error 99 ：●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

（点滅） ：CDプレーヤーが正常に動作していない。
➡CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

（点滅） ：テーププレーヤーが正常に動作していない。
➡カセットテープを取り出してから、カセットテープを入れなおしてください。

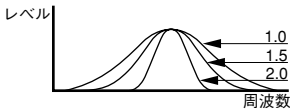
Bas F /Mid F /Tre F

(バスフリケンシィ/ミドルフリケンシィ/トレブルフリケンシィ)

低音、中音および高音を調節する周波数（中心周波数）を、この機能を使って設定することができます。

Bas Q/Mid Q

(バスクォリティーファクタ/ミドルクォリティーファクタ)

低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。

BEEP

(ビープ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離したときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”にすることにより消すことができます。

COL

(バリアブルカラー)

ディスプレイのカラーモードを設定します。

Sync：ボリューム調節中、アッテネーターオン中にディスプレイの色が次々に変わります。

Fix　：ディスプレイの色が設定した色に固定されます。

CONT

(コントラスト)

文字のコントラストを設定することができる機能です。

Dolby B NR

(ドルビー B ノイズ リダクション)

テープのノイズを軽減するための機能で、ドルビーラボラトリーズ社により統一された規格です。

ドルビーB NRシステムを使用して録音したテープは、再生するときもドルビーB NRシステムを使用して再生します。

DSP：Digital Signal Processor

(デジタルシグナルプロセッサー)

音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

EQ

(イコライザーモード)

イコライザーモードには“EASY”と“PRO”の2つのモードがあり、使用したいモードを選択します。

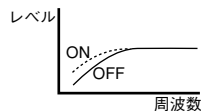
“EASY”モードは、ジャンル別に設定されたイコライザーカーブ（ロック、ポップス、ダンスなど）の選択と効果の強弱を調節できます。

“PRO”モードは、イコライザーカーブを選択する他に各設定項目を調節することができます。

（調節のしかたは29ページ～31ページをご覧ください）

EXT

(エキステンテッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

MONO
（モノラル）
この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。
受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聴き易くなるときがあります。

Open
（オープニング）
電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

SCL
（スクロール）
ディスプレイにディスク／トラックタイトル、ディスク／トラックテキストを選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。
この機能を“Auto”に設定しておくとスクロールを繰り返し行い、“Manu”に設定しておくと表示が変わったときだけ１回スクロール表示するようにできます。

チューニングモード
放送局の探し方を設定することができます。
Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。
Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。
Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

ディスクチェンジャー
外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C510、KDC-C506など）、MDチェンジャー（KMD-C30、RJ-480など）、マルチDISCチェンジャー（VD-C77など）です。

テープポジション
カセットテープのテープ（磁性体）の種類は４種類があります。
テープの種類に合わせてテープポジションセレクターをOnかOffに設定してください。カセットテープの種類とテープポジションの設定は下記の通りです。
MTL On：メタルテープ(Type IV)、フェリクロムテープ(Type III)、およびクロムテープ(Type II)。
MTL Off：ノーマルテープ(Type I)

交通情報：TI
（トラフィック インフォメーション）
高速道路上などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。
テープやCDなどを聴いていても、すばやく交通情報の周波数を選択することができる機能です。

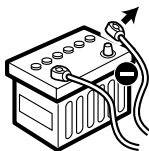
Help

取り付け時のご注意

⚠警告

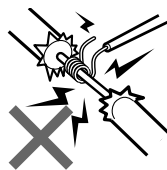
禁 止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。

実 施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。

実 施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

禁 止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁 止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

実 施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

禁 止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

禁 止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

実 施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

実 施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

注 意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

実 施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

注 意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

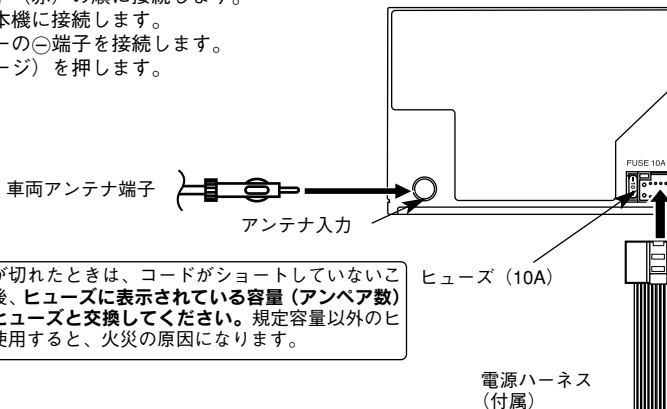
実 施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実 施

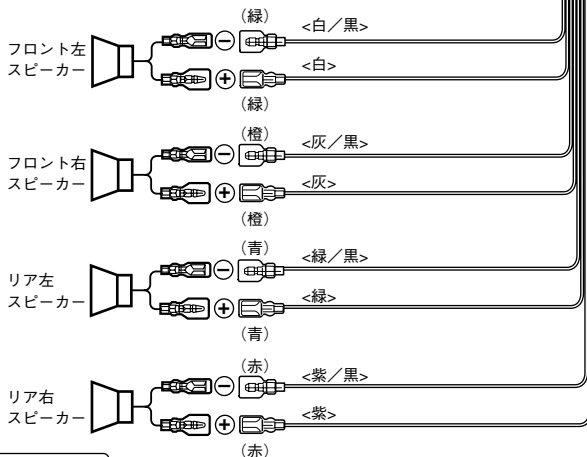
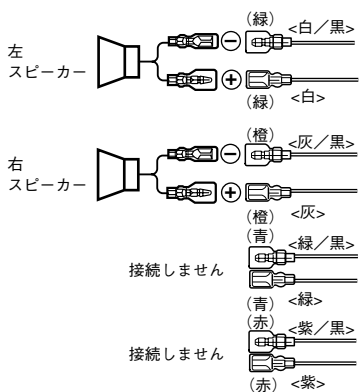
1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。

注 意
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法

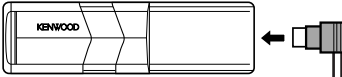
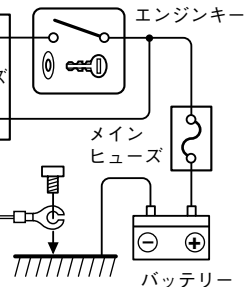
左スピーカー
⊖（緑）<白／黒>
⊕（緑）<白>

右スピーカー
⊖（橙）<灰／黒>
⊕（橙）<灰>

接続しません
（青）<緑／黒>
（青）<緑>

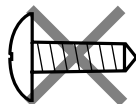
接続しません
（赤）<紫／黒>
（赤）<紫>

注 意

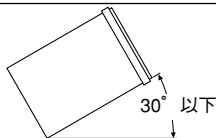
- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

ディスクチェンジャー入力
詳しい接続のしかたはディスクチェンジャーに
付属の取扱説明書をご覧ください。
ディスクチェンジャー（別売品）
KENWOOD
ディスクチェンジャーケーブル
（ディスクチェンジャーに付属）
●別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが付いている場合は、“N”に設定してください。
●別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
アンテナコントロール（青）
ANT CONT
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
イルミネーション（橙／白）
ILLUMI
車両のイルミネーション電源端子に接続してください。
アクセサリー電源（赤）⊕
ACC
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
アクセサリー電源
ヒューズ
エンジンキー
バッテリー電源（黄）⊕
BATT
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
バッテリー電源
メイン
ヒューズ
アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。
バッテリー

取り付け

付属のトラスネジ（M5 × 6 mm）またはサラネジ（M5 × 7 mm）を6本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

- **取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。
なお、取り付けネジはトラスネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

- **取り付け前にCDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/ イジェクトを行ってください。**

- 本機の取り付け角度は30゜以下になるように取り付けてください。30゜以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け／取り外しをしないでください。破損することがあります。

別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

必ずお読みください

保証とアフターサービス

保証について

●保証書
この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間
お買上げの日より **1 年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙"ケンウッド全国サービス網"をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理
この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  (本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代:修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性（±3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度（±400 kHz）	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ

カセットテーププレーヤー部

テープスピード	4.76 cm / 秒
ワウ & フラッター	0.08 % (WRMS)
周波数特性 (±3 dB)	25 Hz～22 kHz (70 μs)
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)
S/N比	60 dB (Dolby B NR OFF) 68 dB (Dolby B NR ON)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs(λ=780 nm)
ディジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500～200 rpm（線速度一定）
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	40 W × 4
定格出力	26 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD)

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	178 × 100 × 155 mm
質量（重さ）	2.3 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ（M5 × 6mm）	6本
サラネジ（M5 × 7mm）	6本
セムスネジ（M4 × 8mm）	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター　（東京）　電話(03)3477-2801　FAX(03)3477-5334　〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

（大阪）　電話(06)6394-8085　FAX(06)6394-8308　〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22

受付時間 9:00〜18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）

● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。